



涌小通信

知内町立涌元小学校
～重点教育目標～
主体的・対話的に学び、
自らを磨き、高め合う子
平成30年11月30日発行

ゲーム依存症は「ゲーム障害」という『病気』です ～スマホ・メディアと上手に付き合うためには、ルールを守ること～

知内町の小学生のスマホ・メディアルールである、「ゲームの時間は2時間以内」「夜9時以降はしない」は守られているでしょうか。実際は、ネットやゲームに夢中になるあまりに、約束が守られていなかったり、家族に頻繁に注意されるということがあるのではないのでしょうか。

先日見ていたテレビの報道では、子どもにゲームをさせないために、『ゲーム機のプラグの穴にカギを付ける』という秘策が紹介されていました。親と子どもが闘い、子どもからゲーム機を取り上げることはあまり現実的ではないと思います。学校と家庭が協力しながら、子どもたちに、上手なスマホ・メディアと付き合う方法を教えていかなければならないと思います。

そんな折、今年5月にWHO(世界保健機構)から、「ゲーム依存症は病気である」という報告がなされました。ゲーム症・障害を「持続または反復するゲーム行動」と定義し、以下の4項目の具体的な症状を紹介しました。診断に必要な症状の継続期間は「最低12カ月」、特に「幼少期は進行が早い」と補足されていました。



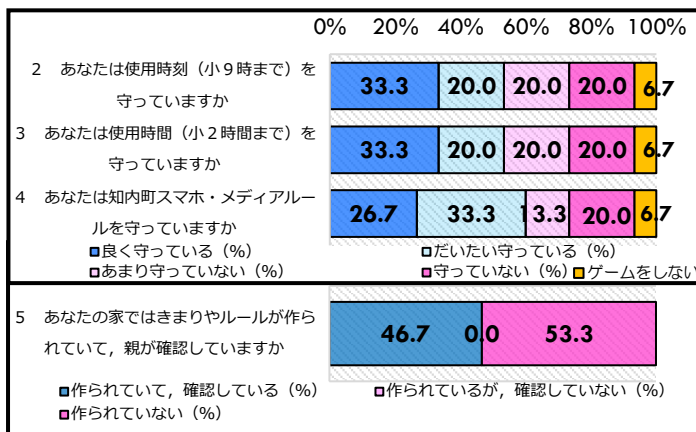
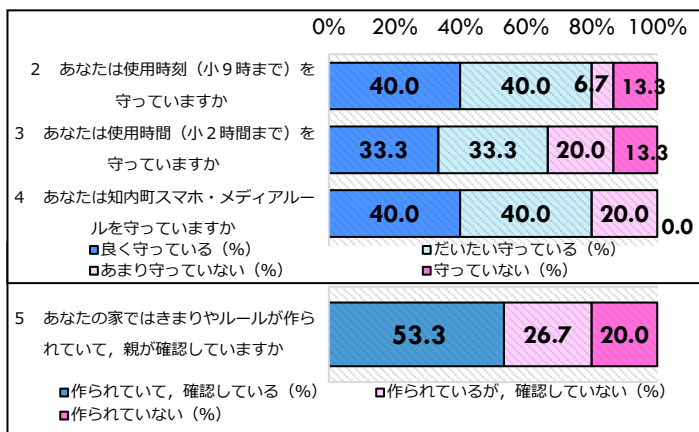
- ① ゲームをする衝動が止められない。
- ② ゲームを最優先する。
- ③ 問題が起きてもゲームを続ける。
- ④ 個人や家族、社会、学習、仕事などに重大な問題が生じる。

4項目全てに該当する児童はおりませんでしょうか。ゲーム障害という病気にならないために、各家庭においても、知内町「スマホ・メディアルール」の再確認をよろしくお願いします。

町P連が中心となって、3年生以上の児童を対象に「スマホ・メディアアンケート調査」を実施いたしました。その調査の結果、涌元小の児童は、スマホ・メディアルールが十分に守られていない実情が見えてきました。

＜平成29年度の涌元小児童アンケートの結果＞

＜平成30年度の涌元小児童アンケートの結果＞



＜訂正とお詫び＞

11月臨時号の中で、今年度の全国学力・習状況調査の結果と改善策についてお知らせいたしましたが、算数科の改善策に誤りがありましたので、訂正するとともにお詫び申し上げます。

【算数】

円周率の意味や小数のわり算の立式の意味など、5年生で学習した内容の定着率があまりよくありません。B問題では、問題文から必要な情報を読み取ることに課題が見られました。中には無回答の設問も見られました。

【改善策】◆児童の理解力や表現力の向上を図る取組を進めます。

- ・決められた条件の中で書き表す指導の重点化や日常の学習で、自分の考えをまとめ、書く活動に多く取り組みます。
- ・一定の時間内で一定量の文章が読めて、内容を読み取ることができるよう、毎日の学習で読む活動を継続していきます。